

出力特性は、開発のねらいの中でも特に「ファミリーのためのスニーカー」といったイメージを具現化することに注力しました。

ベースとしたエンジンならびにトランスミッションはスーパーカブ C125。ダックス125を気軽に楽しんでいただく上で、国内ではAT小型限定普通二輪免許で乗り出せ、その気になれば「今度の週末に免許を取ってくる」ことができるという点は重要であると考えました。

そして、このベースエンジンに対し、専用の吸排気系を採用することで、2人乗りを想定しながら市街地でストレスなく使える出力特性を与えたのがダックス125のパワーユニットです。

その目標と内容は以下のように設定しました。

市街地でストレスなく、楽しく

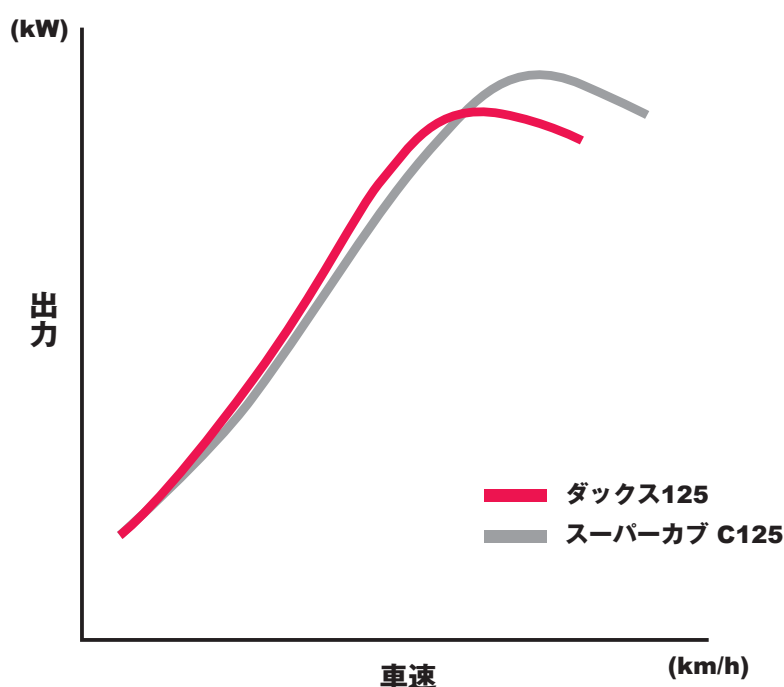
- ・自動遠心クラッチ + クラッチ連動4速トランスミッション
- ・専用吸排気系

●自動遠心クラッチ + クラッチ連動4速トランスミッション

スーパーカブシリーズ同様、発進は自動遠心クラッチ、シフトチェンジ時には多板クラッチを作動させる4速トランスミッションを採用することで、発進時とシフト操作時のクラッチ操作を不要とし、より気軽なライディングを提供しています。

また、スーパーカブ C125の前後17インチタイヤに対し、前後12インチタイヤのダックス125では、タイヤサイズ変更と併せてギアレシオを見直し、スーパーカブ C125に対し、トップギア40km/hからの加速にも余裕を生み出す走りを実現。市街地などの混合交通でストレスのない走りを実現しています。

■出力特性比較イメージ図*



※完成車としての走行フィールの違いを表現するため、後輪出力での比較イメージとしました。